

策定委員会委員・准委員の皆さんへ

(水沢地区まちづくり構想策定委員会からのお知らせ)

☆ 夢っ茶すいざわ通信 ☆

＊ ＊ 平成24年8月号 ＊ ＊

8月の委員会では「水沢が目指す未来像の基本となる言葉」を決めました。

『四日市の奥座敷「水沢」の魅力アップで 住みよい元気なまちづくり』

これは「四日市の奥座敷」の名に恥じない地域を目指し、魅力が有って住みやすく、元気なまちをつくろうという、意気込みを表しています。

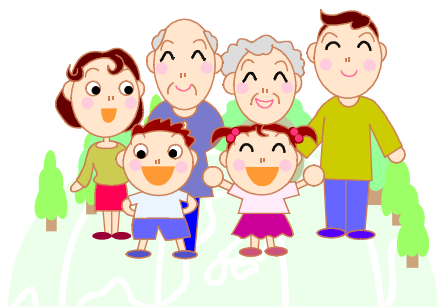
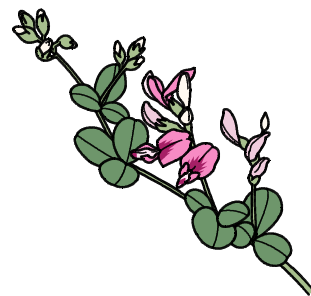
では「奥座敷」にはどんな意味があるのでしょうか。

奥座敷 = 大きな家で(ふつう客間に使う)入り口から遠い座敷。

大都市近郊にある保養地、観光地のたとえ。

(学研:金田一春彦 現代新国語辞典より)

四日市市の中にも、住んで良し、訪れて良しの、素敵な地区がある。それが水沢だと胸を張って言えるようになりましょう。



水沢には他の地区には無い、いろんな場所やもの、こころが有ります。

水沢峠、宮妻峡、もみじ谷、少年自然の家、星の広場、水沢運動広場、ふれあい牧場、隣接してリサーチパーク、スポーツランドなど。

虹、茶、風、水、静かさ、星、緑、眺望、澄んだ空気、多様な動植物。

歴史や文化、伝統、ふれあい、見守り、相互扶助の心。それぞれの魅力にさらに磨きを掛けて水沢をパワーアップ!

今後は、目指す未来像を支える三つの柱を建て、それぞれについてさらに検討を深めていきます。それは

1, 自然・産業 2, コミュニティ 3, 都市計画・インフラ

秋には、運動会や文化祭、もみじ祭り等の行事がいろいろあります。そういった機会にも、住民の皆さんの意見やご要望をたくさんお聞きしたいと思います。

☆夢っ茶すいざわ通信☆にご意見をお寄せください。

問い合わせ・提出先:水沢地区市民センター-(上田・鈴木)329-2001

ホ-ムペ-ジ電子メール:suizawahp@gmail.com

水沢地区まちづくり構想策定委員会